



安全データシート

Page 1 of 6

LOCTITE SF 7471 PRIMER known as Loctite(R) Locquic(R)
Primer T

SDS No. : 153665
V001.2

改訂: 13. 04. 2015

発行日: 29. 12. 2015

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 135337
製品名 : LOCTITE SF 7471 PRIMER known as Loctite(R) Locquic(R) Primer T

会社名 :

ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

<u>危険有害性クラス</u>	<u>危険有害性区分</u>	<u>標的臓器</u>
可燃性/引火性エアゾール	区分1	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3	中枢神経系
水生環境有害性(急性)	区分3	
水生環境有害性(長期間)	区分3	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール H229 加圧容器：熱すると爆発のおそれ。 H319 強い眼刺激 H336 眠気又はめまいのおそれ H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P211 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P273 環境への放出を避けること。 P280 眼保護具/顔面保護具を着用すること。
応急措置:	P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
アセトン	>= 60 - < 70 %
イソブタン	>= 20 - < 30 %
2-プロパノール	>= 5 - < 10 %
2-メルカプトベンゾチアゾール	>= 0,1 - < 1 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合: 直ちに多量の水で（可能であれば石けんと）洗うこと

眼に入った場合: 多量の水で洗うこと、できるならばぬるま湯で最低でも15分間、まぶたをおさえて眼を開けた状態で洗うこと。

飲み込んだ場合：	無理に吐かせないこと。 医師の診察を受けること 被災者を安静にしておくこと。 意識があるならば、大量の水を飲むこと。
吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：	泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。
火災時の分解物質：	硫黄酸化物 窒素酸化物 刺激性の有機蒸気。 炭素酸化物
保護具：	自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	十分な換気を保つこと。 保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	製品が下水または排水溝に入らないようにすること。
除去方法：	廃棄するまで密閉できる容器に隙間を空けて入れ保管する。 不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。 適切な換気装置を設置すること。 全ての点火源を排除すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	使用中また全ての蒸気が換気されるまで：換気を続けてください- 喫煙しないこと；全ての炎、種火、ヒーターを消す事； ストーブ、電気工具、器具またその他着火源を切る事。 眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。 使用後はよく洗うこと。
保管：	涼しく、良く換気された場所に保存し、熱、火花および裸火を近づけないこと。 使用準備が整うまで容器はしっかり閉めておくこと。 元の容器内だけに保管すること。 点火源に近づけないこと。 120° F (50°C) 未満で保存すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
アセトン	200 ppm 470 mg/m ³ TWA	750 ppm TWA 500 ppm TWA
イソブタン	500 ppm 1.200 mg/m ³ TWA	1.000 ppm TWA
2-プロパノール	400 ppm 980 mg/m ³ CEILING	200 ppm TWA 400 ppm TWA

保護具：

- 呼吸用保護具：** 十分な換気を保つこと。
十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク
- 眼の保護具：** 安全ゴーグルまたは側板付き安全眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具：** 耐薬品性、不浸透性手袋。
ブチルゴムおよびネオプレンを含む手袋が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状： エアロゾル
色： 琥珀色，黄
臭い： アセトン
pH： データ無し
融点/凝固点： データ無し
引火点： -8 ° C (17.6 ° F)
推定
自然発火温度： データ無し
蒸気圧： 172 mm Hg
約
蒸気密度： データ無し
比重： 0,7953
n-オクタノール/水分配係数： データ無し

10. 安定性及び反応性

- 安定性：**
- 化学的反応性：** 強酸化剤
- 混触危険物質：** 適切に使用した場合特になし。
- 化学的安定性：** 推奨保存状態下では安定している。
- 避けるべき条件** “取扱いと保存”（セクション7）と“不適合性”（セクション10）を参照。
- 危険有害な分解生成物：** 硫黄酸化物
刺激性の有機蒸気。
窒素酸化物
炭素酸化物

1 1. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
アセトン	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
2-プロパノール	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
2- メルカプトベンゾチアゾール	皮膚感作性	区分1		

1 2. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
2-メルカプトベンゾチアゾール	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

1 3. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 2.1
 Packing group:
 UN no. : 1950
 Label: 2.1
 EmS: F-D,S-U
 Seawater pollutant: -
 Proper shipping name: AEROSOLS

Air transport IATA:

Class: 2.1
Packing group:
Packing instructions (passenger) 203
Packing instructions (cargo) 203
UN no. : 1950
Label: 2.1
Proper shipping name: Aerosols, flammable

15. 適用法令

労安法 :

名称等を通知すべき有害物 アセトン
2-プロパノール
イソブタン
名称等を表示すべき有害物 アセトン
2-プロパノール
第2種有機溶剤等 アセトン
2-プロパノール

消防法

第4類引火性液体, 第一石油類 水溶性

毒劇物法 :

該当しない

PRTR法 :

該当しない

高圧ガス保安法

イソブタン

16. その他の情報

発行日:

29. 12. 2015

問い合わせ先:

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意: :

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社

製品安全性及び規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780

FAX:045-758-1771